

愛知が起こす 成長革命

愛知が起こす成長革命

日本が蘇る
2027年への
提言27

愛知県知事

大村秀章

Hideaki Ohmura



日本が蘇る
2027年への
提言27



9784569827025

ISBN978-4-569-82702-5

C0030 ¥1300E



1920030013001

定価:本体1,300円(税別)

PHP研究所

愛知が起こす 成長革命

日本が蘇る
2027年への
提言27



日本はいま、明らかにチャンスを迎えています。
岩盤規制を穿ち、イノベーションの風を呼び込み、
グローバル化とデジタル革命の波に乗るには、
ここで、もう一押しが必要です。
大村知事の改革が、愛知から日本を一気に
変貌させると期待します。

慶應義塾大学教授 竹中平蔵

大村秀章

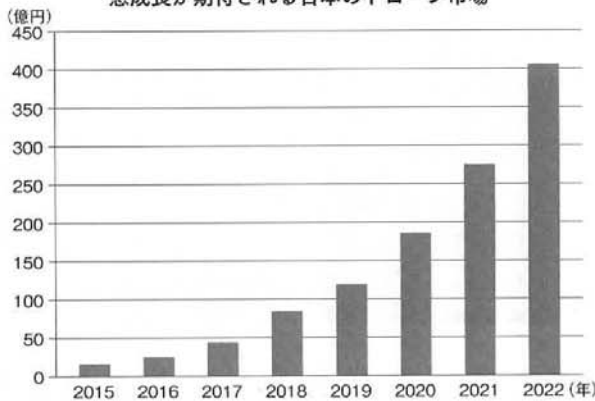
PHP

水素が創る新社会

モノづくりを「航空宇宙産業」に昇華させる
集積が集積を呼ぶ好循環を〜「公」支援のR&D育成
民活というカンフル剤〜有料道路コンセッション
あいち観光元年〜産業観光の発信を
2027年の賑わい〜リニアの威力
都市間競争に打ち勝つ〜分権こそが処方箋

PHP研究所 定価:本体1,300円(税別)

急成長が期待される日本のドローン市場



(出典:株式会社シード・プランニング「産業用無人飛行機・ヘリコプターの市場予測」から作成)

ドローン (drone):

英語でミツバチの雄という意味で、ブーンという音をたてて飛行する様子からその名がついた。軍用の無人航空システムとして開発が始まったが、空撮用でも1万円を切る廉価版が登場し、高機能化が進んで、未知の空間をビジネスに活かす新技術として期待されている。10年後の米国の市場規模は10兆円との試算もある。



写真提供: キャリオ技研株式会社

1 ドローンから見えること

ドローンが世情を賑わしている。首相官邸や善光寺に落下する事件が相次ぎ、操縦者が逮捕されたり、身柄を確保されたりした。落下映像が繰り返し報道され、2015年9月には規制法が成立した。人命や治安を脅かすおそれがあるとして、日本ではドローン活用策よりも規制論議が先行しているようだ。

だがアメリカは違う。いまや、ドローン商戦の真つ盛りだ。オクラホマ、テキサスなどの州がドローン関連産業の誘致にしのぎを削り、自治体と企業、大学、政府系研究機関の連携が急速に進んでいる。もちろんアメリカでも、「17歳以上の有資格者が視界に入る範囲で操縦する」といった規制の動きはある。だが10年後に米国内で10兆円規模に膨らむと予想されるドローン市場の覇権争奪に血道をあげているのが実態だ。

実はNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」のオープニングシーンにはドローンで撮影された映像だ。ソチ冬季五輪では滑降競技などの空撮中継にドローンが活躍した。2015